



# 長崎大学歯学部

NAGASAKI UNIVERSITY  
School of Dentistry

2018  
学部案内

基本的教養と幅広い歯科口腔医学専門知識を習得し、  
今後の歯科口腔医学、歯科口腔医療を切り拓く  
国民の目線に立った歯科医師及び研究者を養成する。



# 未来につながる第一歩。



## contents

- 02 学部長あいさつ
- 03 歯学部のカリキュラム
- 05 歯学部の特色
- 07 歯学部研究室紹介
- 12 卒業生、在学生からのメッセージ
- 13 歯学部の入試システム
- 15 キャンパスライフ・サークル活動
- 17 施設紹介
- 18 長崎について

# 夢への挑戦。

## Message

「いつまでも美味しく食べる」そんな“ひと”が“ひと”として生きる最大の喜びの中の一つに貢献できるのが歯科医療であり、それを担うのが歯科医師です。長崎大学では、全身の健康に寄与する口腔医療の担い手として、確かな知識と技術を学び、患者の安心と信頼を得られる人間性豊かな歯科医師を育てるために、以下の取り組みを行っています。

1. 少人数教育、グループ学習、学生による発表討論などのアクティブ・ラーニングを取り入れた教育を行っています。
2. グローバル化を意識した英語教育に力を入れ、英語コミュニケーション[1～2年次]、総合英語[1～2年次]、Advanced English[3年次]、Scientific and Practical English[3年次]及び実践臨床歯科英会話[4年次]を行っています。さらに英語学習の自学自習を支援するためのCALLシステムを導入しています。
3. 長崎大学歯学部の特徴ある取り組みである早期体験実習、コミュニティー教育・実習、科目横断型の統合講義やPBL、歯科東洋医学及び離島滞在型歯科医療・地域保健・福祉実習(医歯薬合同)を行っています。

### 早期体験実習

Early exposureの一貫で、1年次生は市内の歯科医院や総合病院などに計5日間終日出向き、実際の歯科医療現場を体験します。具体的に自らの将来像をイメージすることで学修のモチベーションを高める目的です。このプログラムは長崎県歯科医師会からの全面的な協力を頂いて実施しており、既に15年の実績があります。

### コミュニティー教育・実習

3年次生は専門知識や技術が歯科医療に真に生かされるためには欠かせないコミュニケーションの役割について学びます。

### 歯科東洋医学

全国的にもユニークな科目「歯科東洋医学」を3年次に、「歯科臨床東洋医学」を5年次に開講しています。その中で東洋医学大系の基礎、鍼のメカニズムと臨床応用、漢方薬の基礎知識と処方等について学びます。

### 統合講義、PBL

4年次までに身につけた歯学および医学の知識をもとに、統合科目、PBLで各分野の枠組みを超えて、さまざまな疾患に対する総合的な診断力・問題解決力を養成します。

### 離島歯科医療・地域保健・福祉実習(医歯薬合同)

5～6年次の臨床実習期間中に、五島市の歯学部離島歯科保健医療研究所を拠点とし、一週間の離島滞在による歯科医療・地域保健・福祉実習を行います。特別養護老人ホームでの実習では入所者の口腔ケアや食事の介助、デイサービス利用者との交流を行い「治し、支える歯科医療」を実体験します。また3学部合同のディスカッションでは、多職種協働の重要性を学ぶとともに、主体的学習を実践します。

また、AO入試選抜者に若干名の希望者を加えた十数名の学生は3年次より歯学研究コースを履修し、リサーチマインドを高く有する学生になるように、希望する研究室で研究を行います。将来の歯科界を担う優秀な歯科口腔医学研究者になることを期待しています。

これらの取り組みに共通する考えは学生が主体的に学修できる環境を整備するということです。長崎大学歯学部で学んでみませんか。皆さんとお会いできることを教職員一同、心から楽しみにしています。



歯学部長

澤瀬 隆

Takashi Sawase

# 歯学部のカリキュラム

コア・カリキュラム  
(65%)

## 1年次

教養教育で幅広い教養を身につけ、さらに専門教育の入門として細胞生物学の基本を学びます。

前期

後期

### 教養教育

早期体験実習

歯学展望

解剖学(骨学)

歯科医師のコンピテンシー

etc



## 2年次

教養教育の履修のほか、歯学領域の基礎科目を学びます。

前期

後期

### 教養教育

解剖学

発生学

組織学

生理学

生化学

歯科理工学

etc

講義及び実習



## 3年次

歯学領域の基礎科目(本学独自の科目を含む)の履修のほか、歯科医師として必要な全身の医学を学びます。博士(歯学)の学位取得を前提とする歯学研究コースを選択した場合は研究の基礎知識・基本手技も学びます。

前期

後期

### 教養教育

病理学

微生物学

薬理学

口腔解剖学

口腔組織学

etc

講義及び実習

Scientific and Practical English

コミュニティー教育・実習

歯科東洋医学

### 教養教育

口腔生理学

口腔生化学

歯科理工学実験

口腔病理学

口腔微生物学

歯科薬理学

医学統計学

衛生学

etc

講義及び実習

関連臨床医学 (内科学、外科学、隣接医学等)

基礎歯学研究概論

基礎歯学研究

歯学研究コース

## 大学院進学の特長

長崎大学には大学院医歯薬学総合研究科があり、博士課程は原則4年です。この4年間で得た高い知識と技術は、学部教育の6年間で得た基礎的な知識と技術とは根本的に異なります。全国的にも注目されている「がん医療に携わる専門医養成コース」があり、また、「摂食嚥下リハビリテーション」など特色あるカリキュラムも開設されます。大学院教育で得た高い知識と技術は質の高い歯科医師の

養成に直結しており、指導的役割を担う質の高い歯科医師として活躍の場が広がります。なお、歯学部の博士(歯学)の学位取得を前提とする歯学研究コースを選択して長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(歯学系)に進学した場合には、独自の基準による3年次早期修了の道が開かれています。

大学院進学者は原則としてすでに歯科医師として登録されていますので、勤務

しながら学ぶことが可能です。一般大学院生の場合は、指導教員(主任教授)の教育方針によりますが、学業に支障を来さない程度(一般におおよそ週に1回程度)で歯科医師として働きながら学ぶことも可能です。また、長崎大学には社会人大学院の制度があり、この場合は歯科医師として医療施設で働きながら余裕のある時間に大学に通って博士(歯学)の学位を取得することが可能です。

独自カリキュラム  
(35%)

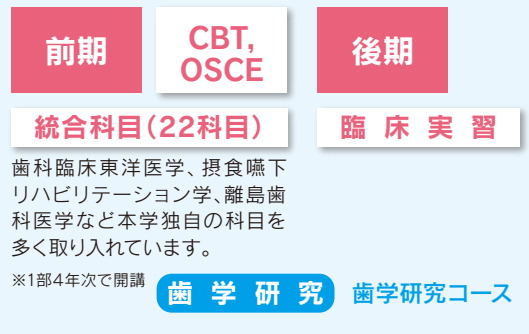
4年次

歯学領域の臨床科目の履修のほか、専門教養科目として基礎的な臨床歯科英会話を学びます。博士(歯学)の学位取得を前提とする歯学研究コースでは臨床研究の基礎知識・基本診療技術も学びます。



5年次

4年次までに身につけた歯学および医学知識をもとに、統合科目(本学独自の内容、Problem-Based Learningを導入)で各分野の枠組みを越えて疾患に関する総合的な判断力を養成します。博士(歯学)の学位取得を前提とする歯学研究コースでは、さらに少人数指導のもとで基本的な研究を体験します。後期から臨床実習が始まります。



6年次

本格的な診療参加型臨床実習(本学の特徴)を開始するとともに、歯科医師国家試験の準備をします。博士(歯学)の学位取得を前提とする歯学研究コースにおいては、指導教員とともに優れた成果を出せば学会発表を行うことも可能です。



卒業

国家試験

歯科医師

卒後教育

大学院生

大学院博士課程(4年)進学

修了 博士(歯学)

臨床研修医(原則1年)

A 歯科医師として 医療施設に就職  
(個人開業医、総合病院等)

B 歯科医師、博士(歯学)として 医療施設、行政分野に就職

C 歯科医師、博士(歯学)として 大学、研究機関に就職  
(大学教員等として歯科医療、研究および教育に従事)

大学で高い知識と技術を身につけた後に、医療施設に就職または個人歯科医院を運営することも可能

※博士(歯学)は、一般的に歯学博士と呼ばれる学位です。※大学教員になるには、原則として博士の学位が必要です。

# 歯学部の特徴

特色  
ある教育

患者の目線で行動できる歯科医師を養成

## 早期体験実習・離島歯科医療実習



1年次から歯科医療の現場に触れ、歯科医師の心構えが持てる

長崎ならではの離島の抱える問題にかかわり、地域医療に貢献できる

実習で患者と触れ合うことでコミュニケーション能力が向上する

患者の目線で行動できる歯科医師養成のために、多くの臨床実習を取り入れています。1年次の早期体験実習では、前期に学内の臨床分野を回り、今後の学習への意欲を高めます。後期には長崎市内を中心とした開業歯科医院や総合病院などにおいて、歯科医療の現場を見ることができます。

また、地域医療にも力を入れており、平成21年度からは5～6年次に五島市での離島歯科医療実習を開始しています。この実習では医学部、薬学部との共修の保健・福祉プログラムもあり、将来の医療チームとしての連携や、他職種との共同活動が念頭に置かれています。離島実習は離島が多い長崎県ならではのものです。地域歯科医療振興のために今後さらなる内容の充実を図っています。



特色  
ある教育

2

独自のカリキュラムで先進的な教育が受けられる

## 未来の歯学界を切り拓く独自のカリキュラム



統合科目で積極的に  
課題と向き合う問題  
解決能力をきたえる

問題基盤型学習(PBL)  
により、疾患に関する総  
合的な判断力が身につく

コミュニティー教育で  
人や地域への理解を  
深める

全国の歯学部共通のコア・カリキュラムに加えて、ユニークな科目群を採用しています。大きな特徴は、4～5年次の22科目におよぶ「統合科目」が挙げられます。グループディスカッションの形式で、問題基盤型学習(PBL)により学生自らが問題を発見し、これまで学んできたさまざまな分野の知識を駆使しながら問題解決する力をきたえるものです。摂食嚥下リハビリテーション学、口腔インプラント学などの科目があります。

また、3年次のコミュニティー教育・実習では、外部講師を招いて地域社会における歯科医師の役割を学びます。そのほか、歯科臨床東洋医学では漢方や灸などの東洋医学を、歯学部では全国唯一、カリキュラムに組み込んでいます。今後の全人教育として歯科への展開を見据えた試みです。



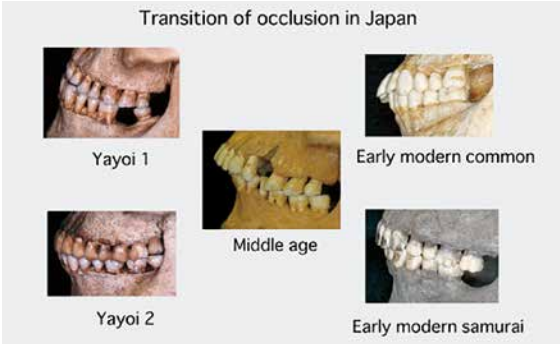
# 歯学部研究室紹介

## 基礎系

### 01 顎顔面解剖学

歯を中心とした顎顔面領域の形質人類学的研究を行っています。歯の形態の時間的・空間的変異をもとに、人類地域集団の起源、拡散、混血、置換などの集団史の解明を進めています。また当時の口腔領域の疾患の集団間変異について古病理学的研究を進めています。

さらに人骨から抽出されたミトコンドリアDNAの分析を行い、人類地域集団の系統解析を行っています。



### 02 細胞生物学

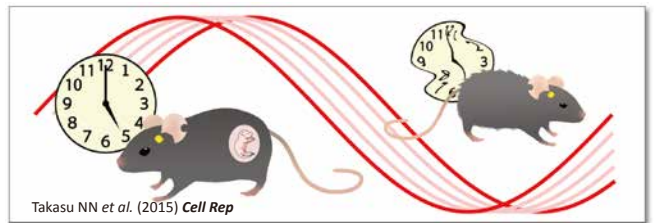
硬組織(歯、骨、軟骨)の形成・維持機構の解明を、遺伝子改変マウスの作製を中心に進めています。

特に、象牙芽細胞、骨芽細胞、軟骨細胞の分化・増殖機構に焦点を当て、分子生物学的手法と細胞組織化学的手法の両者により解明を進めています。



### 03 加齢口腔生理学

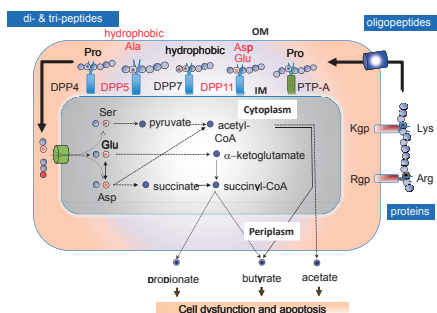
当研究室は“加齢”という時間軸に沿った生理機能の変容を冠した、世界的にもユニークな生理学教室です。生理学はホメオスタシス(恒常性)が大前提ですが、生体の機能は1日の中でダイナミックに変動します。生理機能の変動リズムを制御するのが視床下部に存在する「体内時計」です。我々は体内時計の神経回路メカニズムを解明することで、加齢に伴う生体機能の減弱を補い、超高齢化社会におけるQOL(生活の質)を確保するべく研究を進めています。



### 04 口腔分子生化学

病原性因子としての細菌性ペプチダーゼの構造と機能、骨や歯の石灰化について分子生物学的手法で追求しています。最近、歯周病原性細菌が発現する2種類のジペプチジルペプチダーゼ(DPP、図中の赤字)を同定しました。さらにごく最近にはDPPには切断できないN末端修飾ペプチドを分解できるオリゴペプチダーゼAOPも発見しています。

Degradation process and metabolism of nutritious proteins in *P. gingivalis*



### 05 口腔病理学

病理では外科で切除された標本を実際に診断していることから、外科材料を用いた研究ができることが大きな強みであり、また、病理学にはこうした貴重な標本を用いて歯科医学の発展に貢献する責任もあります。従って当分野では、口腔病理専門医として病理組織診断を行いながら、疾患の発生・成立のメカニズムを明らかにする研究を進めています。

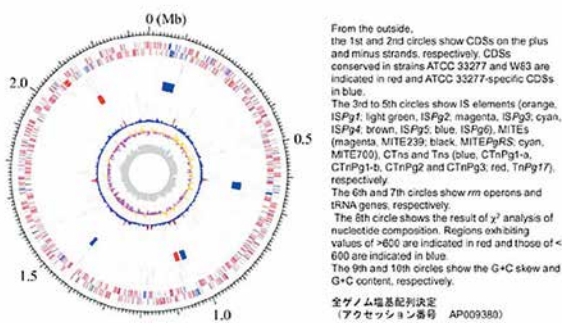
特に、口腔扁平上皮癌、歯原性腫瘍、唾液腺腫瘍などを対象として、形態学的及び分子生物学的研究を行っています。





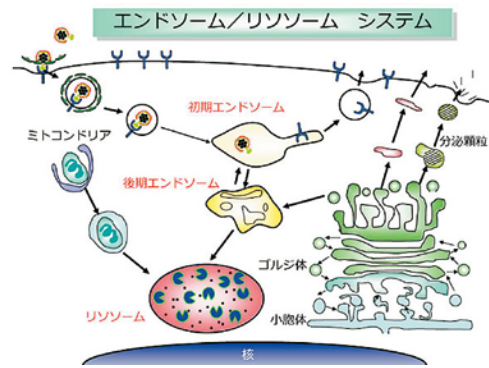
## 06 口腔病原微生物学

歯周病は嫌気性細菌による感染症です。とくに重要な歯周病原細菌として *Porphyromonas gingivalis* が挙げられます。私たちは本菌の病原性を明らかにするため、おもに分子遺伝学的方法を用いて研究しています。本菌から分泌される強力なタンパク質分解酵素の研究から、今まで知られていなかった細菌の分泌機構(9型分泌機構)を発見し、現在、その全容を解明する研究を行っています。



## 07 歯科薬理学

細胞内に存在するリソソームの機能と病態に関して研究を行っています。リソソームには様々な加水分解酵素が含まれており、リソソームの機能異常は、様々な病態を引き起こします。リソソーム機能を制御する分子、特に歯科領域と関連の深い遺伝子やタンパク質の解析を通じて、新しい創薬のターゲットを探していきたいと考えています。



## 08 生体材料学

当分野で行っている研究の主なものは次の通りです。

- 1 生体骨に近い弾性的性質を示す骨代替用チタン合金の開発
- 2 分光測色法による歯冠修復用オールセラミック材料およびコンポジットレジン光学特性の解析
- 3 電気化学測定法による歯科用合金の耐食性の検討
- 4 高靱性ジルコニア・セラミックスのインプラント上部構造/インプラント体への応用
- 5 インプラント材料や歯内療法材料、矯正用材料の各種特性評価



## 09 分子硬組織生物学

「がん」の克服は人類の大きな挑戦です。人の命を奪う怖いイメージが強い「がん」ですが、その「がん」を研究することで、現代の生命科学は発展してきました。当分野では、骨関連細胞の腫瘍化の分子メカニズムを、遺伝子改変マウスを用いて研究しております。

また、骨格形成・骨量維持において重要な破骨細胞の機能とカルシウム代謝機構について、同じく遺伝子改変マウスを用いて解析しております。

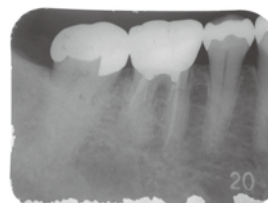


## 10 歯科法医学

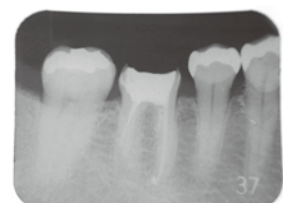
歯学教育モデル・コア・カリキュラム、歯科医師国家試験出題基準に歯科法医学領域の項目が記載され、歯科法医学の学術的及び社会的意義は大きくなってきました。そこで当分野では、以下のような研究課題に取り組んでいます。

- 1 歯科医療関連死などの再発防止に関する研究
- 2 警察歯科活動(歯牙鑑定、マニュアル作成や研修会開催など)の支援
- 3 DNA多型等を利用した個人識別に関する研究
- 4 突然死関連遺伝子の同定を目標とした分子遺伝学的研究

剖検時に撮影したもの



診療時に撮影したもの



レントゲン画像を用いた該当者との異同識別

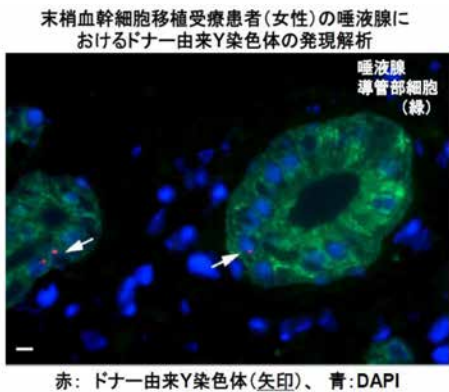
# 歯学部研究室紹介

基礎系

臨床系

## 01 硬組織疾患基盤研究センター

当センターは、本学歯学部における医療技術開発のブレークスルーと先端医療の拠点形成に大きな成果をもたらすことを目標に、歯学部独自の基礎研究の成果を応用した硬組織疾患治療と再生医療のトランスレーショナルリサーチを実施しております。さらに、口腔領域に異常をきたす自己免疫疾患や骨系統疾患など難治性疾患に対する幹細胞治療法の開発を目指した基礎研究にも取り組んでいます。



骨格筋は使えば肥大し使わなければ萎縮します。また筋損傷しても、内在する幹細胞（サテライト細胞）により速やかに再生されます。骨格筋はこれまで動くための運動器として位置づけられていましたが、最近では体重の40%占める生体内最大のエネルギー代謝臓器として認識され始めました。私たちは、骨格筋の肥大、再生、代謝を制御する分子基盤を明らかにし、サルコペニアなどの筋脆弱症あるいは代謝性疾患に対する新しい予防治療法の開発を目指しています。



## 01 口腔保健学

- 1 口腔疾患と全身との関連性についての五島調査研究
- 2 肥満や糖尿病、動脈硬化と歯周病との関連性について
- 3 口腔の細菌が脂肪組織に及ぼす影響
- 4 そしゃく回数と肥満との関連性について
- 5 国の調査結果による口腔と全身との関連性の分析
- 6 地域における歯科保健事業、公衆衛生システムに関する研究
- 7 フッ素入りガムによる歯の再石灰化に関する研究



## 02 歯科矯正学

不正咬合の発生機序を、顎顔面頭蓋の形態的あるいは機能的な異常の両面から捉え、矯正力を作用させた際の歯列、咬合、顎の成長の変化及び歯の移動のメカニズムを解明することを研究課題としています。

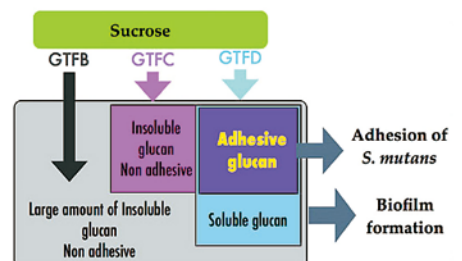


## 03 小児歯科学

小児歯科においては小児に関する歯科学はすべて研究の対象となります。当分野では以下のような課題の研究を主に行っています。

- 1 齲蝕病原性細菌の病原因子に関する研究
- 2 口腔細菌叢の成立に関する研究
- 3 乳歯及び幼若永久歯に対するレジンの接着性に関する研究
- 4 審美的歯冠修復材の口腔内評価
- 5 齲蝕活動性試験の臨床評価に関する研究
- 6 心身障害及び全身疾患を有する患児の口腔管理に関する研究

Function of GTFs in adhesion of *S. mutans* and Biofilm formation

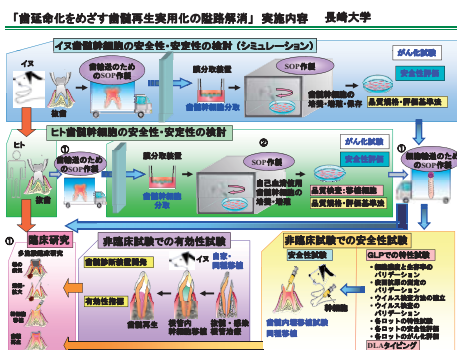


## 04 齶蝕学

歯科保存学、歯内療法学の教育及び診療を担当し、特に外来ではマイクロスコープの利用を進めています。

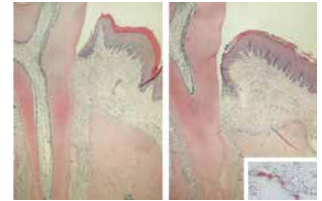
研究面では、主に以下の項目について展開しています。

- 1 歯髄再生療法の推進
- 2 グルコサミン、魚コラーゲンの生理活性機構
- 3 微量元素の生理活性
- 4 MTAの物性及び生物学的特性
- 5 二次離島での口腔健康調査
- 6 臨床における修復物の長期生存データの構築

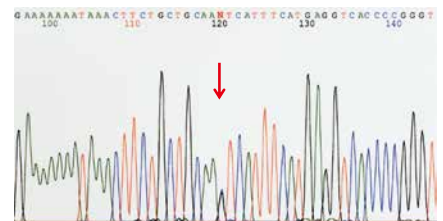


## 05 歯周病学

歯周病学の研究領域は、歯周疾患の病態並びに原因を明らかにするとともに、その成立機構を解明し、その予防法及び治療法を確立することです。特にプラークは歯周疾患のもっとも重要な原因因子とされており、数多くの研究がなされています。すなわちプラークの形成機序、歯周組織に対する為害性と歯周疾患の誘発機構、プラーク抑制法、歯周病変の治療法の確立などであり、その研究手段は、病理学、細菌学又は生化学的方法など多分野にわたっています。



左は正常ラット、右は実験的歯周炎を惹起させたラットの歯周組織像

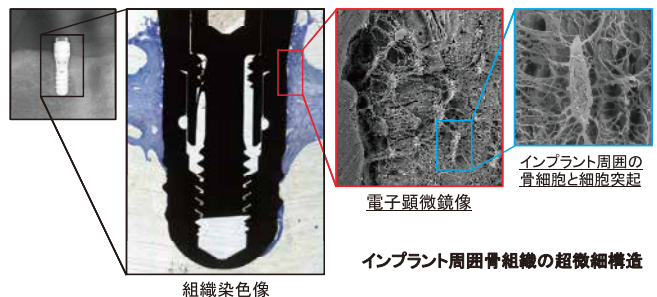


遺伝子多型解析の一例

## 06 口腔インプラント学

インプラント治療を含む歯科補綴治療を成功させるために、補綴に関わる基礎研究からトランスレーショナルリサーチまでを、高い専門性を生かして行っています。

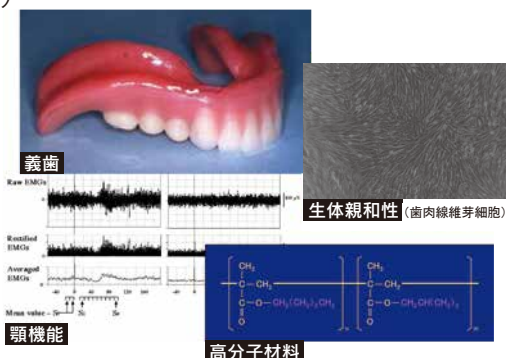
- 1 インプラントにおける荷重と骨質との関連性
- 2 接着性を向上させるための基礎研究
- 3 高分子・複合材料・セラミックスの創製と臨床応用
- 4 薬剤関連顎骨壊死の病因究明と治療方法の開発



## 07 歯科補綴学

歯科補綴学領域において、実用化を目指した研究を行っています。

- 1 リライン材および義歯安定剤の開発と臨床応用
- 2 顎口腔系の被調節性と顎運動系の機能的診断
- 3 歯科用材料によるアレルギー
- 4 補綴治療の臨床的効果
- 5 義歯のケア
- 6 老年歯科医学



## 08 口腔腫瘍治療学

口腔癌をはじめとした口腔顎顔面領域における種々の疾患の診断と治療に関する臨床的ならびに基礎的研究。

具体的には次のとおりです。

- ・口腔領域悪性腫瘍の標準治療確立のための臨床病理学的研究
- ・口腔癌の浸潤・転移モデルに関する研究
- ・口腔癌の分子標的治療開発に関する研究
- ・口腔癌における癌幹細胞の研究
- ・口腔癌におけるmicroRNAの研究
- ・口腔癌における薬物代謝酵素の研究
- ・低酸素環境下におけるがん細胞に関する研究
- ・頭頸部癌放射線化学療法時の口腔機能管理に関する研究
- ・頭頸部癌術後期口腔機能管理に関する研究



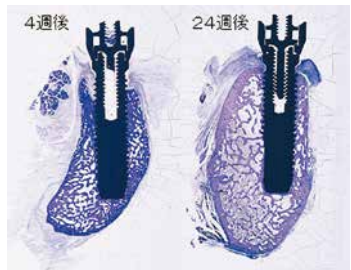
# 歯学部研究室紹介

## 臨床系

### 09 顎口腔再生外科学

- 1 口腔組織再生療法の開発  
口腔組織由来骨原性幹細胞の分離、同定  
骨軟骨組織、分化・成長因子の応用  
培養粘膜、培養骨の作成と臨床研究
- 2 口腔外科領域へのコンピュータ支援 外科の導入  
顎変形症手術におけるシミュレーションおよびナビゲーション  
システムの構築
- 3 口腔インプラント手術におけるシミュレーション法の開発  
口腔インプラントを用いたオーラルリハビリテーション  
抜歯即時埋入、即時機能  
法の臨床的検討  
補綴前処置法の開発
- 4 口腔腫瘍に対する非外科  
的治療法の開発  
超選択的動注化学療法  
の臨床研究  
光線力学療法の臨床研究

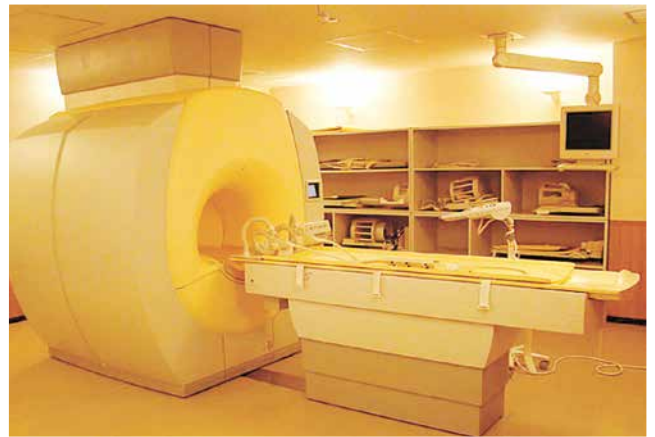
骨形成たんぱく質(BMP)を用いた顎骨再生研究



BMPで再生された若いアカゲザルの顎骨にインプラントを埋入し咬合機能を回復している

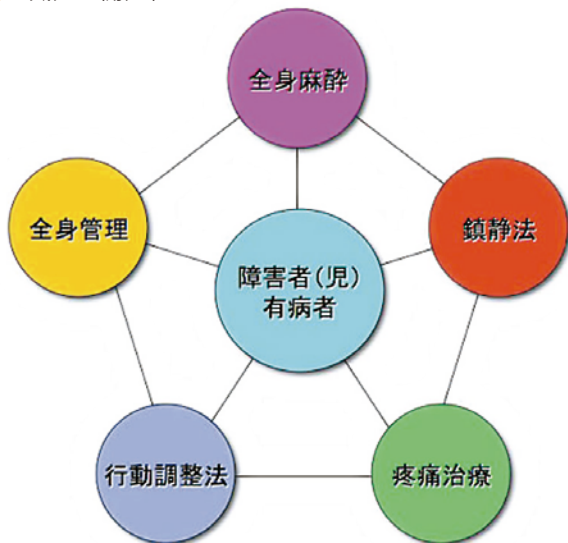
### 10 頭頸部放射線学

歯科あるいは放射線のみにとられず、癌研究及び細胞の分化増殖を主題の一つに掲げ、また一方では頭頸部を主とした各種疾患の画像診断並びに放射線治療を他方の柱として研究を進めています。



### 11 歯科麻酔学

- 1 口腔外科手術や歯科治療のための全身麻酔
- 2 快適な新しい鎮静法の開発
- 3 歯科治療時のストレス
- 4 顎、顔面、口腔領域の痛み
- 5 上気道の開通性



### 12 総合歯科臨床教育学

専門の枠にとられない歯科診療一般をもとに、卒前臨床実習ならびに卒後臨床研修を担当しています。効率的な診療参加型臨床実習を行うためのカリキュラム構築や新しい臨床能力評価法の検討および診療技術向上システムの開発を主な研究テーマとしています。

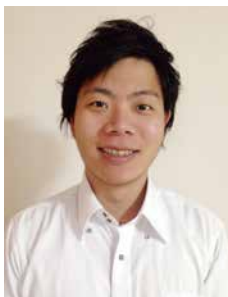


# 卒業生、在学生からのメッセージ

## 卒業生

### 島田 淳史

長崎大学病院研修医  
歯学科 2015年度卒  
(徳島県立富岡西高等学校 出身)



## 時代を見据えた歯科 医師になるために

長崎大学歯学部で6年間学び、春から研修医として長崎大学での7年目を迎えました。

私が長崎大学を選んだのは、歯科治療はもちろん全身管理を学べる魅力的な研修プログラムがあるためです。歯学部なのになんで全身管理を学ぶの？口の中だけじゃないの？と思う方もいるかもしれません。確かに、一般的な歯科医師のイメージは虫歯、歯周病を治す人かもしれません。しかし、歯周病一つとっても糖尿病、肺炎、心筋梗塞、脳梗塞などと相関性があり歯周病菌によって引き起こされる可能性があり、口の中だけの問題ではありません。

また、口の中で初めて症状を認める全身疾患も多数あり歯科医師と医師、薬剤師などの医療スタッフと連携する必要があります。そのため、歯科医師は患者の健康のためにも全身管理を学ぶ必要があります。

全国の歯学部の中でも時代を見据えた教育で様々なことを学べ、これからの歯科医師の幅広いニーズに対応するための知識を必ず与えてくれる大学だと胸を張って言うことができます。

## 卒業生

### 田口 円裕

厚生労働省医政局歯科保健課長  
歯学科 1988年度卒  
(長崎県立長崎東高等学校 出身)



## 0.3%の世界から

我が国の歯科医師数は約10万人です。そのうち、97.1%の方が、臨床現場で歯科診療に従事しています。私のように、臨床や研究部門でもない行政機関に勤務している歯科医師は、全体の0.3%でしかありません。デスクワークが中心で従来の歯科医師の仕事とは無縁のものです。しかし、そんな世界での仕事は魅力的です。日本の歯科保健医療の未来予想図を描きつつ、公衆衛生的な視点から制度や仕組みを創っています。

この0.3%の世界に誘ってくれたのが、自由かつ独創的で、いつの時代も将来を見据えた、長崎大学歯学部の教育であり、恩師である歯学部教授です。自分の将来や未来をじっくり考えるために必要な環境や時間、すばらしい人々との出会いや他大学の学べないことが、ここ長崎大学歯学部にはあります。

国のあるべき「未来」は、ひとりひとりの「幸せ」が集まってできるものです。ここ長崎から、「日本の未来」・「世界の未来」を考える「パブリックヘルスマインド」を持つ歯科医師への第一歩を踏み出してみませんか？

## 在学生

### 片岡 遥

歯学科 2年次生  
(山口県立宇部高等学校 出身)



## 長崎での充実した 学生生活

この1年間、充実した大学生活を送り、私は長崎大学歯学部に入學して本当に良かったと思っています。歯学部は一学年50人と学内でも人数の少ない方の学部です。同級生同士、先輩・後輩の仲が良く、教授との距離も近いです。

週に2日専門科目、残りの3日教養を学んでいます。現在、週に1度、長崎市の歯科医院に行き、実際の治療を見学する実習があり、将来の具体的な歯科医師像を描き、意識を高めるのに役立っています。多くのことを学び、経験して自分の目指す歯科医師に近づいていきたいと思っています。

部活は、卓球部とバドミントン部を兼部しています。どちらも大学から始めたスポーツですが、先輩方が優しく教えてくださり、楽しんでいます。休日は、部活のメンバーでBBQをしたり、同級生の友人と出かけたりします。長崎は、西洋と東洋の文化が融合した歴史ある国際的な都市で、観光地やお祭りも多く、楽しい休日を過ごしています。大学生活は、勉強も遊びも、自分から積極的に動けば、どんどん楽しくなるものだと思います。

同じ志を持った仲間とぜひ、長崎大学歯学部で一緒に学びませんか。

## 在学生

### 立花 由梨

歯学部 6年次生  
(岩田学園岩田高等学校 出身)



写真左奥

## 幅広い視点から 歯科医師を目指す 長崎大学

皆さんは「歯学部」と聞いて歯について6年間勉強するマニアックな学部というイメージを持たれていませんか？しかし、実はそういったイメージとは違い、微生物学や薬理学などの基礎医学や全身の病気を一通り勉強し、その上で歯の専門家を目指すという学部なのです。特に近年の患者さんをご高齢の方が多く、背景の様々な病気を理解した上で歯科治療することが求められています。

長崎大学では、離島実習を通して地域医療の大切さを学んだり、食べ物や飲み込むことが難しい患者さんに対しての摂食嚥下治療を学ぶこともでき、より社会のニーズに沿った勉強ができます。もちろん、勉強だけではありません。歯学部内での部活動やサークルも充実しており、歯学部祭ではブラッシング指導をはじめ歯学部ならではのイベントも企画します。少人数だからこそ学年の結束も強く、また、先生方や先輩方との距離もとても近く感じられます。

魅力沢山の長崎大学歯学部で、皆さんの入学をお待ちしています。

# 歯学部の入試システム

入学志願者は、大学入試センター試験の受験を必要とします。入試は、一般入試(前期・後期)試験とAO入試です。これらの詳細は募集要項をご覧ください。



**大学入試センター試験**

出願受付  
10月上旬

**一般入試(前期)**  
定員33人



**一般入試(後期)**  
定員7人



**AO入試**  
定員10人

出願受付  
11月中旬

第1次選考  
結果発表  
12月上旬

※AO入試合格者は、歯科医師の資格に加え、長崎大学で博士(歯学)の学位も取得することを前提とした、歯学研究コース(基本定員20人)を履修します。

■ 入学料 ……282,000円

■ 授業料(前・後期に分けて納入)  
年額 ……535,800円  
※入学料、授業料については改正される(金額未定)可能性があります。

■ 入学料・授業料免除、入学料徴収猶予  
経済的理由により入学料の納付が困難な場合、全額または半額が免除される制度があります。また、経済的理由により、入学手続き期間内に入学料の納付が困難と認められる場合、徴収猶予制度があります。

■ 諸納付金等

種別	金額(円)	備考
学生教育研究災害傷害保険	4,800	6年間
学研災付帯賠償責任保険(付帯保険)	3,000	6年間(Cコース)
歯学部教育後援会費	80,000	6年間
歯学部学友会費	36,000	6年間
新入生合宿研修費	2,500	参考(H29年度金額)
合計	126,300	

○入学年度納入額

■ 奨学金

①日本学生支援機構  
日本学生支援機構では人物・学業に優れ、経済的理由で修学が困難な学生に対し奨学金の貸与を行っています。

②各種奨学金  
日本学生支援機構の他にも地方自治体及び民間企業などで奨学金制度を設けている団体もあり、長崎大学でその募集を行っています。

【日本学生支援機構】(利率は変更されることがあります)

奨学金の種類	貸与月額	返還利率
大学第一種奨学金	自宅通学者 30,000円 または 45,000円	無利子
	自宅外通学者 30,000円 または 51,000円	
大学第二種奨学金	30,000円	卒業後の利率 3%上限
	50,000円	
	80,000円	
	100,000円	
	120,000円	

上記5種類から選択できます

<参考>  
●上記以外の諸納付金等

**4年次生** 臨床実習開始前の各種予防接種費(約20,000円)が必要となります。また、主に4年次に行う口腔生命科学各論IIの実習において使用する模型等の実習器具の代金(約300,000円)が必要となります。

**5年次生** 学生の能力と適性について、全国的に一定水準を確保するための全国共通の標準評価試験である臨床実習開始前の共用試験(CBT, OSCE)の受験料(平成29年度25,000円)が必要となります。

**6年次生** 歯科医師国家試験受験手数料(平成28年度18,900円)が必要となります。

※一般的な学生で教科書及び参考書代は、各学年で約20,000~50,000円程度、また6年次国家試験対策(参考書、模試等)で約100,000円程度の出費が見込まれます。



### AO入試で 求める人物像

将来我が国の最先端歯科口腔医療、歯科口腔医学研究又は歯科口腔医学教育を担うことを目指し、歯学部卒業後、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(歯学系)に進学するための、歯学研究コースを履修することを確約する人。

1  
Jan.

2  
Feb.

3  
Mar.

大学入試センター試験  
1月

出願受付  
1月下旬～  
2月上旬

試験  
2/25

合格者発表  
3月上旬

入学手続  
3月中旬

試験  
3/12

合格者発表  
3月下旬

入学手続  
3月下旬

第2次選考  
1月下旬

合格者発表  
2月上旬

入学手続  
2月中旬

## 歯科医師 国家試験 合格状況

※新卒者・既卒者を  
含めた数字

	長崎大学			全国		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
第106回(平成25年)	56	47	83.9	3,321	2,366	71.2
第107回(平成26年)	61	47	77.0	3,200	2,025	63.3
第108回(平成27年)	51	37	72.5	3,138	2,003	63.8
第109回(平成28年)	51	38	74.5	3,103	1,973	63.6
第110回(平成29年)	66	43	65.2	3,049	1,983	65.0
過去5年間	285	212	74.4	15,811	10,350	65.5

毎年難しくなっているけど、  
自習室も完備されたし、  
頑張るのみです。





# Campus Life >

## 行事予定

4

APRIL

- 前期授業開始
- 新入生合宿研修 (1年生)
- 入学式 (1年生)
- 新入生学部オリエンテーション (1年生)
- 臨床開始前実習開始 (5年生)

新入生合宿研修

5

MAY

- 開学記念日



6

JUNE

- CBT (5年生)

7

JULY

- 前期試験
- オープンキャンパス
- OSCE (5年生)



オープンキャンパス

8

AUGUST

- 全日本歯科学生体育大会 (オールデンタル)
- 夏季休業



9

SEPTEMBER





# Circle Activities

10  
OCTOBER

- 後期授業開始
- 臨床実習開始 (5年生)  
(離島実習含む)
- 卒業試験(6年生)

11  
NOVEMBER

- 歯学部祭

12  
DECEMBER

- 冬季休業

1  
JANUARY

- 後期試験 (1年生)

2  
FEBRUARY

- 後期試験 (2~4年生)
- 歯科医師 国家試験 (6年生)

3  
MARCH

- 卒業式

歯学部祭



ブラッシング指導



卒業式



サークル活動

女子バスケットボール部

剣道部

卓球部

ゴルフ部

水泳部

テニス同好会

男子バスケットボール部

サッカー部

バドミントン部

準硬式野球部

男子バレーボール部

硬式庭球部

弓道部

女子バレーボール部

柔道部

ボウリング部

軽音楽部

茶道部

# 施設紹介

in 坂本キャンパス



① 入口



② 長坂



③ 被爆に耐え抜いた大楠



④ 陶板レリーフ「長崎のあけぼの」



⑤ 正面玄関



⑥ 福利厚生棟(生協、自習室など)



⑦ 歯学部教育研究棟



⑧ 長崎大学病院玄関



長崎市の夜景(世界新三大夜景の一つ)



軍艦島(端島)



おくんち(龍踊り)

# 長崎について

古くから外国と交流があった長崎。  
街を歩けば様々な文化と長い歴史に  
出会うことができます。

「グラバー園」などの  
魅力的な観光名所はもちろん、  
「世界新三大夜景」にも選出された  
「長崎市の夜景」は必見です!

その他にも、いろんなイベントが見所いっぱい!

たくさんのことを体験しながら  
長崎で学ぼう!!



帆船まつり



ランタンフェスティバル(孔子廟会場)



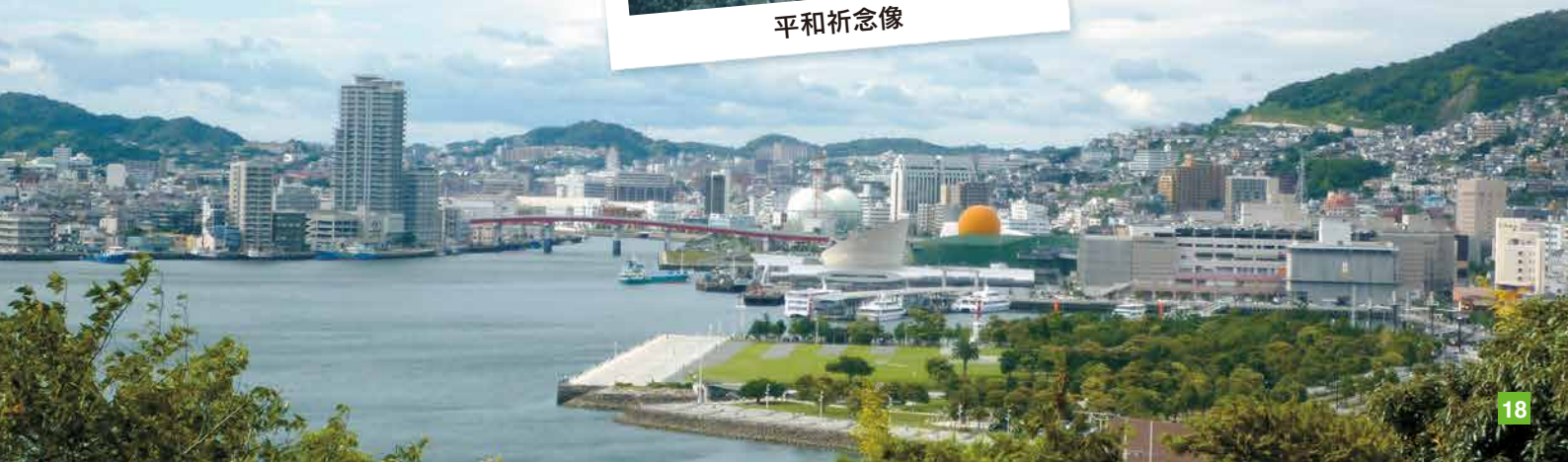
浦上天主堂



平和祈念像



グラバー園



# アクセス ACCESS

長崎空港から



■歯学部についてのお問い合わせは  
**長崎大学歯学部学務係 TEL 095-819-7613**  
 (長崎大学歯薬学総合研究科歯学系事務室学務係)  
 〒852-8588 長崎市坂本1-7-1

■入試についてのお問い合わせは  
**長崎大学学生支援部入試課**  
 〒852-8521 長崎市文教町1-14 TEL 095-819-2111

■インターネットのホームページでは随時最新の情報をご案内しています。  
<http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/>